

Cisco Prime IPAM との統合のサンプル拡張

内容

[概要](#)

[はじめに](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[設置](#)

[コンフィギュレーション](#)

[Cisco Prime Network RegistrarのIPAMグローバル変数の設定](#)

[Extension:CPNR IPの取得](#)

[Extension:CPNR IPを返す](#)

[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、Cisco Intelligent Automation for Cloudのタイプ *External* として識別されるネットワークの外部IPアドレス管理システムとしてCisco Prime Network Registrar™ IPAMを統合するためのサンプル拡張を提供します。

はじめに

要件

注：このドキュメントには、プログラミングの例が含まれています。すべてのサンプルコードは、拡張する基盤として説明の目的でシスコが提供します。これらの例は、すべての条件下で十分にテストされていません。実稼働環境で使用する前に、サンプルコードを適切にコピーおよび修正する必要があります。

この設定を行う前に、次の要件が満たされていることを確認します。

- プロセスを編集できる Cisco Process Orchestrator の有効なログイン クレデンシャル
- Cisco Process Orchestratorが使用するCisco Prime Network Registrar IPAMソフトウェアの有効なログインクレデンシャル

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のハードウェアとソフトウェアのバージョンに基づいています。

- Cisco Intelligent Automation for Cloud 3.1.1 (任意のエディション)
- Cisco Process Orchestrator 2.3.5

- Cisco Prime Network Registrar IPAM 8.0以降

表記法

ドキュメントの表記法の詳細は、「[シスコテクニカルティップスの表記法](#)」を参照してください。

設置

1. Cisco Process Orchestratorサーバで、Webターゲットを作成します。
2. [base url]フィールドに「`http://<Cisco Prime Network Registrar IPAM Server>:8080/inc-
ws/services`」と入力します。
3. 新しいランタイムユーザを選択し、Cisco Prime Network Registrarにログインするためのクレデンシャルを使用して新しいランタイムユーザを作成します。
4. Cisco Intelligent Automation for Cloud Extension Samples tap をインポートします。

コンフィギュレーション

このドキュメントで説明されている機能を設定するには、このセクションのステップを完了します。

1. [Cisco Prime Network RegistrarのIPAMグローバル変数の設定](#)
2. [Cisco Prime Network RegistrarのIPAM拡張機能の追加：CPNR IPの取得](#)
3. [Cisco Prime Network RegistrarのIPAM拡張機能の追加：CPNR IPを返す](#)

Cisco Prime Network RegistrarのIPAMグローバル変数の設定

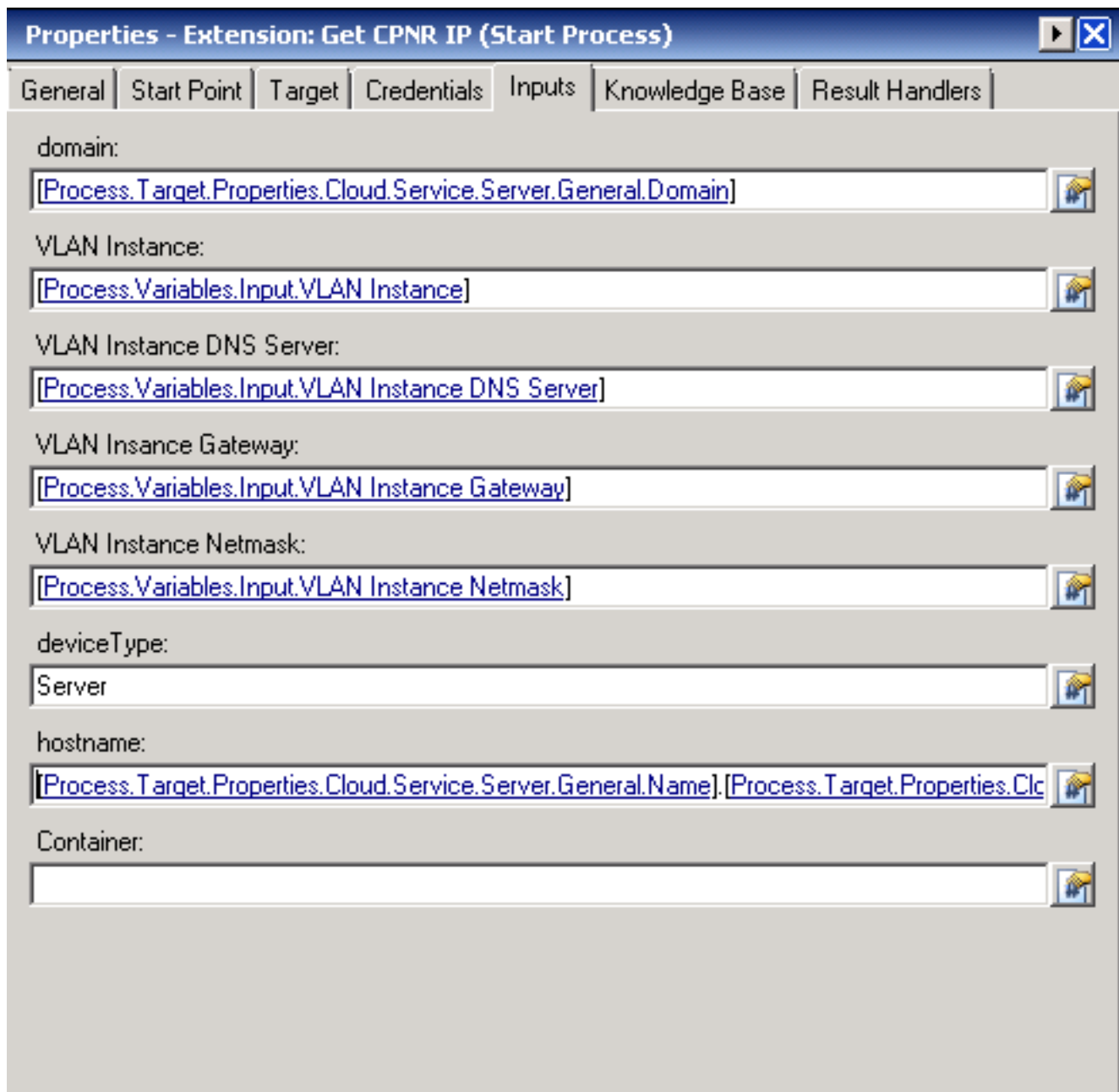
Cisco Prime Network Registrar IPAMに定義されている次のグローバル変数を設定します。

- Cisco Prime IPAMターゲット名

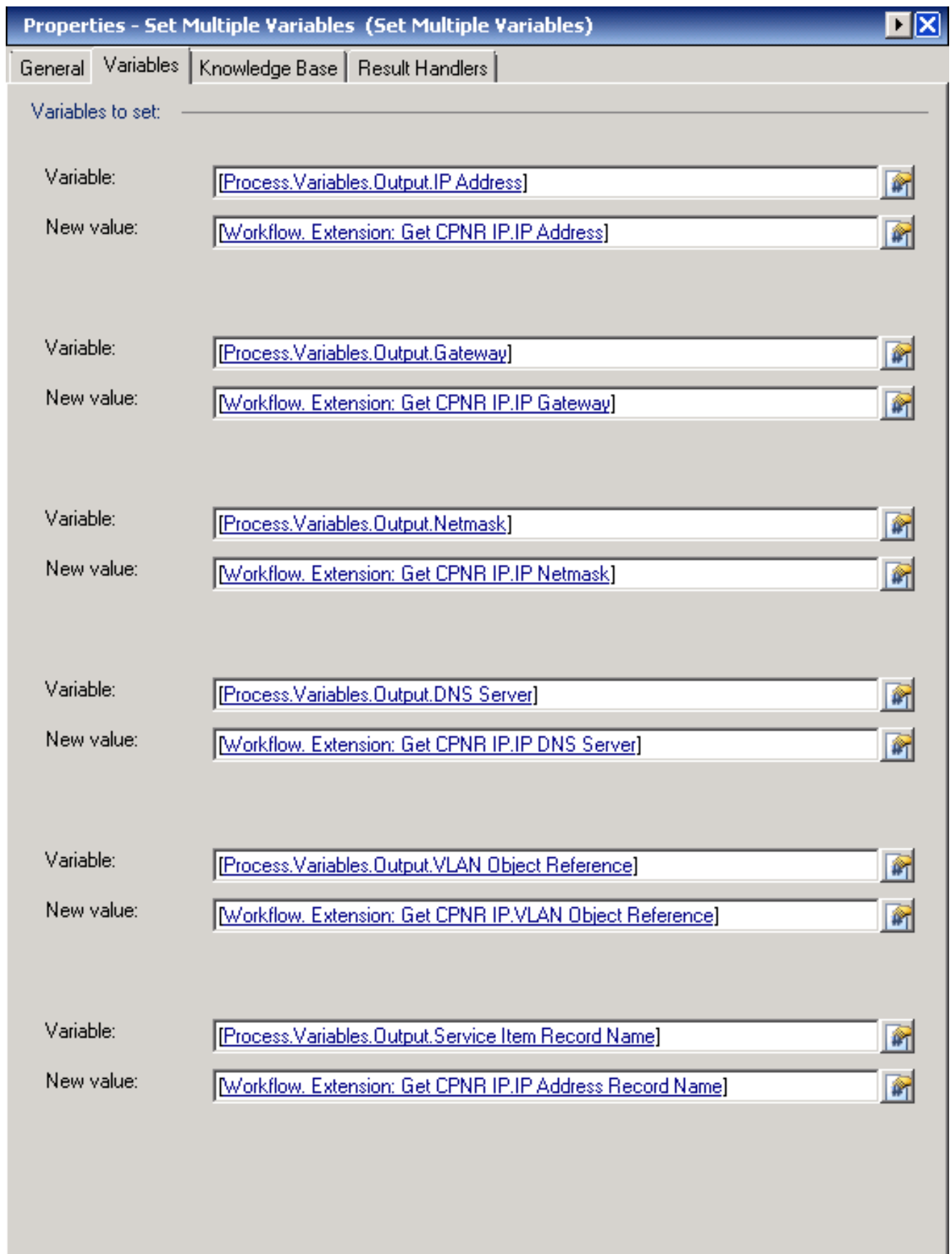
注：この変数の値を、Cisco Prime Network Registrar IPAM用に作成されたWebターゲットの表示名に設定します。

Extension:CPNR IPの取得

1. プロセス拡張をコピーします。CPNR IPを取得します。コピーの名前をローカルで変更することをお勧めします。
2. **Get IP Address >> User Defined** ワークフローを編集します。
3. 拡張子のコピーを追加します。ワークフローへのCPNR IPプロセスの取得。
4. [Inputs] タブで、次のテーブルの値を追加します。設定例を次の画像に示します。

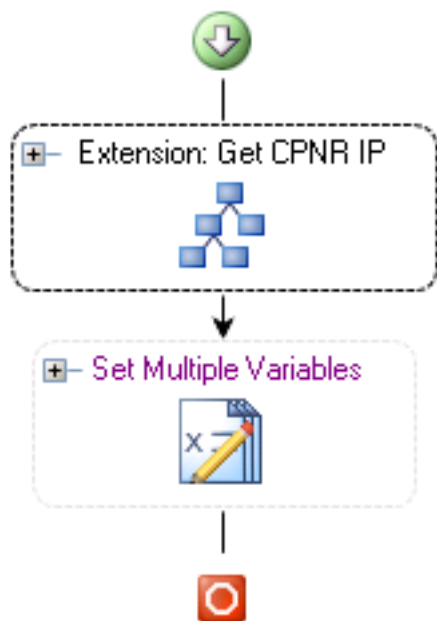


5. ワークフローに「**複数の変数を設定**」アクティビティを追加します。
6. [Variables] タブで、次のテーブルの値を追加します。設定例を次の画像に示します。



7. この手順が完了すると、ワークフローは次の画像のように表示されます。

Get IP Address >> User Defined



8. プロセスを保存して終了します。

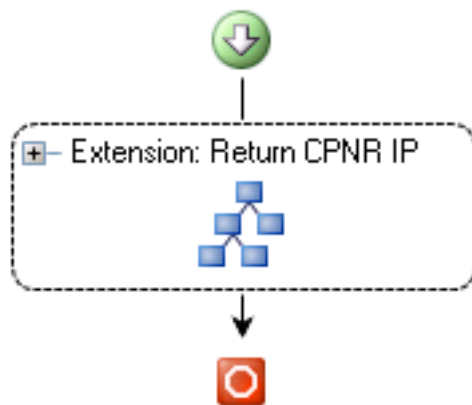
Extension:CPNR IPを返す

1. プロセス拡張をコピーします。CPNR IPを返します。コピーの名前をローカルで変更することをお勧めします。
2. Return IP Address >> User Defined ワークフローを編集します。
3. 拡張子のコピーを追加します。ワークフローにCPNR IPプロセスを返す
4. [Inputs] タブで、次のテーブルの値を追加します。設定例を次の画像に示します。

General	Start Point	Target	Credentials	Inputs	Knowledge Base	Result Handlers
IP Address:						
<input type="text" value="[Process.Variables.Input.IP Address]"/>						
VLAN Instance:						
<input type="text" value="[Process.Variables.Input.VLAN Instance]"/>						
Container:						
<input type="text"/>						
Device Type:						
<input type="text" value="Server"/>						

5. この手順が完了すると、ワークフローは次の画像のように表示されます。

Return IP Address >> User Defined



6. プロセスを保存して終了します。

関連情報

- [テクニカル サポートとドキュメント – Cisco Systems](#)